

報道関係者各位

ULTRAMAN ウルトラマンアーク



2024年4月5日
株式会社 円谷プロダクション

新テレビシリーズ『ウルトラマンアーク』 日本時間 2024年7月6日(土)あさ9時

テレ東系6局ネット発・11言語対応で世界同時期放送&配信スタート!

株式会社 円谷プロダクション（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：永竹 正幸、以下「円谷プロ」）は、新 TV シリーズ『ウルトラマンアーク』をテレ東系6局ネットで日本時間2024年7月6日（土）あさ9時から放送することを発表します。さらに、本作から展開地域・対応言語を拡大し、海外でも6つの国と地域で同時期放送・配信を予定しています。

【新番組『ウルトラマンアーク』について】

最新 TV シリーズ『ウルトラマンアーク』は、子供たちの「夢見る力」を掻き立て、希望に満ちた明るい未来への架け橋となる作品を目指し、「ウルトラマン」の世界観を通して世に贈り出す、明るくハートフルにして勇壮なヒーロー像を描く連続特撮ドラマです。

はるか彼方の銀河系から地球へ降り立った光の使者が、豊かな「想像の力」を持つ主人公「ユウマ」と一体化を果たし、新ウルトラヒーロー「ウルトラマンアーク」の巨大な姿となり、迫り来る危機から人と地球の未来を守る物語となります。

「ユウマ」は、光の使者の力を宿した「アークキューブ」と言う六面体を、神秘の変身アイテム「アークアライザー」に嵌め込むことでその力を解放して一体化を遂げ、新ヒーロー「ウルトラマンアーク」へと変身します。

【主人公「ユウマ」を演じるのは戸塚有輝】

新人俳優・戸塚有輝（24歳）さんが、主人公「飛世（ひぜ）ユウマ」を演じます。「ユウマ」は、怪獣災害を未然に防ぐための科学調査を行う怪獣防災科学調査所、通称「SKIP（スキップ）」に入所したばかりの新米調査員です。優しくまっすぐな性格で町の人たちにも愛される元気一杯の青年で、父親から授かった「走れ！ ユウマ！」と言う座右の銘と心と一緒に、本作主演をまっしぐらに走り抜けます。

【メイン監督は辻本貴則】

メイン監督は、『ウルトラマンX』以降、ニュージェネレーションウルトラマンシリーズに長らく監督として参加してきた辻本貴則（※1）。ほぼしるミニチュア愛、溢れる怪獣愛から、どこかクラシカルな温かみを感じる作風でシリーズコアファンのみならずからも定評をもつ辻本監督が、初めて本



ティザービジュアル



ウルトラマンアーク



飛世 ユウマ

作でメイン監督をつとめます。

【11 言語対応で世界同時期放送／配信】

本作『ウルトラマンアーク』は英語吹き替え版の同時期配信のほか、アジアの主要な国・地域（中国、香港、台湾、タイ、インドネシア、ベトナム）にて、現地語吹き替え同時期放送/配信を予定しています(※2)。

また、YouTube ウルトラマン公式チャンネルを含む配信サイトでも、世界 11 言語の字幕（英語・韓国語・インドネシア語・マレー語・ベトナム語・タガログ語・ラテン語・ポルトガル語・ヒンディ語・中国語・タイ語）で同時期配信を実施予定です。

その背景には、近年のウルトラマンシリーズ作品の中国やアジア圏における人気急騰があります。サイマル配信・オンライン配信の視聴好調に加えて、2024年2月に公開した映画『ウルトラマンブレーザー THE MOVIE 大怪獣首都激突』で実施したアジア舞台挨拶ツアーは大盛況となりました。本作では国内のみならずアジア諸国とも同時期に感動を共有しあえる環境を創出します。

1966年『ウルトラQ』から始まった日本国内でのウルトラマンテレビシリーズは、前作『ウルトラマンブレーザー』までで27作品(※3)、海外向けに制作し、後に国内でテレビ放送された2作品も加えると、本作『ウルトラマンアーク』が実に第30作目となります。

ニュージェネレーションウルトラマンの祖である「ウルトラマンゼロ」も15周年を迎え、節目の年となる2024年・夏に幕を開ける新番組『ウルトラマンアーク』に、どうぞご期待ください。

(※1)「辻」は一点しんによ

(※2) 中国・ベトナムはオンライン配信です。※「同時期展開」とは、日本での放送からおおよそ1週間以内の公開を指します。

(※3) 日本国内向け30分フォーマットの連続ドラマで、その作品で初登場したキャラクターを主人公として描いたテレビ番組のタイトル数。

【初出トレーラー公開】

完成した本篇映像から、本作を垣間見ることのできる初出トレーラーを公式 YouTube とウルトラサブスク「TSUBURAYA IMAGINATION」にて公開しました。

<https://youtu.be/uuRlaOC1vNY>

<https://imagination.m-78.jp/>

【製作発表スペシャルインタビュー公開】

主演・戸塚有輝さん、メイン監督・辻本貴則監督による特別インタビュー映像をTSUBURAYA IMAGINATIONにて公開しました。

<TSUBURAYA IMAGINATION 完全版（約26分）> <https://imagination.m-78.jp/>

作品資料

【あらすじ】

とある町、星元市。

市内の獅子尾山には、異彩を放つ巨大な物体がそびえ立っている。「モノホーン」と名付けられたそれは、実は、16年前の事件当時から突き刺さったままの「怪獣の角」だった。

世界各地で怪獣が同時に出現した「K-DAY」と呼ばれるその事件以降、怪獣災害が日常化し、日本では地球防衛隊が武力で怪獣への対処を行う一方、怪獣防災科学調査所・通称「SKIP(スキップ/Scientific Kaiju Investigation and Prevention center)」は、怪獣災害の発生・甚大化を防ぐため、地域に密着して科学調査や避難誘導を行っている。この「SKIP」が今も調査を続けている「モノホーン」は、「K-DAY」で出現した宇宙獣・モノゲロスの角。

獅子尾山で両親とキャンプ中にモノゲロスの襲来に出くわした当時7歳だった「ユウマ」は、奇跡的に無傷で生還したのを機に怪獣生物学研究の道に進む。辛い過去を持ちながら夢見る「想像の力」をなくさずに成長を遂げたユウマは新人調査員として「SKIP」への入所が決まり、星元市分所へと配属された。

だがそんな矢先、星元市に大規模な怪獣災害が発生。目の前にいる絶体絶命の人たちを「守りたい！」その強くまっすぐな想いが心の底から湧き出した瞬間、「ユウマ」の脳裏に幼い頃に見た光の使者「ルティオン」が語りかける。

「私は君であり、君は私だ…想像力を解き放て！」

手の中に現れた神秘の光がユウマの身体を包み込むと、解き放たれた想像の力が光と人とをひとつに結び合わせ、未来を守る光の巨人「ウルトラマンアーク」へと変身！大切な仲間とともに、ユウマが、そしてウルトラマンアークが、絶やさぬ夢を追いかけていま走り始める！

【新ヒーロー：ウルトラマンアーク】

主人公・ユウマが、想像の力を解き放つことで、はるか彼方の銀河系からやって来た光の使者「ルティオン」と一体化して登場する光の巨人。その姿は、幼い頃にユウマが描いた「さいきょうのヒーロー」のスケッチとそっくり。同じスケッチの「へんしんどうぐ」に似た変身アイテム「アークアライザー」に、力を宿した「アークキューブ」を装填することで神秘の光を解放して変身する。

身長 48m 体重 32,000t。必殺技は、両手をクロスして放つ「アークファイナライズ」。



アークファイナライズ



アークアライザー



アークキューブ

【主人公：飛世 ユウマ（ひぜ ゆうま）】

ウルトラマンアークに変身する本作の主人公。23 歳。

怪獣防災科学調査所・通称「SKIP」星元市分所の入所 3 ヶ月目の新米調査員。

優しくまっすぐで、人のためと思えば周りがヒヤヒヤするほど後先を考えずに行動に出る性格。

幼少期のモノゲロスによる怪獣災害の辛い体験がきっかけで怪獣生物学を志し、同じ苦しみを持つ人々のために役立ちたいと「SKIP」に入所。豊富な怪獣知識と専用の怪獣探知機を駆使して調査を行う。

「走れ！ ユウマ！」が座右の銘。



【主演キャスト：戸塚 有輝（とつか ゆうき）】

<プロフィール>

2000 年 3 月 14 日生まれ（24 歳）群馬県出身。身長 178cm。

ソニー・ミュージックアーティスツ 所属。

<https://www.sma.co.jp/yukitotsuka/>

SMA 主催の俳優発掘オーディションに参加して現事務所に所属。九州大学在学中は福岡県を中心に活動し、2022 年に制作された NHK の地域発 BS ドラマで俳優デビュー。同年、福岡県糸島市を舞台にした地域発の映画にも好演し、大学卒業後に東京で本格的に俳優業をスタート。直後、テレビドラマや CM へと矢継ぎ早に抜擢され、ついに本作で主演の座を射止めた。大学時代に舞台照明の経験を持ち、趣味は写真撮影、照明器具を愛でること。意志の強い眼差しとまっすぐな性格は主人公そのもので、撮影開始時には設定年齢も同い年の新ヒーローを全力で演じる。

<戸塚有輝さんコメント>

皆さん、初めまして！ 飛世ユウマを演じます、戸塚有輝です。

幼少期、怪獣やウルトラマンのフィギュアで遊んでいた頃の私にとって、地球とか宇宙は頭の中のイメージにだけ存在していました。

そして、そのイメージが全てでした。

今再びそのイメージの世界に入れることは純粋に嬉しく、毎日が刺激的で、本当に夢のようです。

飛世ユウマも夢のような世界の中で想像の力を武器に戦い、様々な出会いを経て成長してゆきます。その過程を見届けて頂けたら幸いです。

『ウルトラマンアーク』と出会う世界中のすべての人の想いに、期待に、応えられればと強く思います。私自身はまだまだ未熟な人間ですが、アークと共に力強く走り抜けます！

【メイン監督：辻本 貴則（つじもと たかのり）】 ※「辻」は一点しんによ

<プロフィール>

1971 年 8 月 30 日生まれ（52 歳）大阪府出身。

元・歯科技工士という異色の経歴を持つ映画監督。夢を追いかけて仕事の傍らで映像作品の自主制作を手掛けると、数々の賞を受賞。独自のアクション演出スタイルが高く評価され 2003 年に商業監督としてデビュー。映画・テレビドラマ・アニメなど多数の作品を手掛ける中、2011 年

『ウルトラゾーン』にて幼少期に夢中になった『ウルトラマン』『ウルトラセブン』『帰ってきたウルトラマン』を制作した円谷プロダクションの作品への参画が実現。ニュージェネレーションウルトラマンシリーズでは 2015 年『ウルトラマン X』にてシリーズ初参加。怪獣愛・ミニチュア愛に富んだ演出でファンに定評のある辻本監督が初のメイン監督として本作を紡ぐ。



<辻本貴則監督コメント>

私が初めてウルトラマンシリーズに参加してから今期で 8 作目。ついに、いよいよ、いやまさかの！？ メイン監督という大役を拝命いたしました。

思えば私は「怪獣好き」「ミニチュア好き」を公言しておりましたが、実はコレ、世を忍ぶ仮の姿であり、本当はただの「ウルトラヒーロー大好き子（満 52 歳）」なのであります。

本作のテーマは「想像するチカラ」。相手を思いやる想像力、夢を思い描く想像力、ヒーローになりたいと願う想像力……

この作品で「想像するチカラ」が持っているパワーや素晴らしさをぜひ感じ取っていただきたい。

そして私から溢れ出る「ウルトラヒーロー大好きシウム光線」も存分に浴びていただきたい、そんな思いでシュワッチ！！

【シリーズ構成・メイン脚本：継田 淳（つぎた じゅん）】

<プロフィール>

1974 年 8 月 5 日生まれ（49 歳）秋田県出身。

日本大学芸術学部映画学科を卒業後、脚本家・監督としてデビュー。2011 年『ウルトラゾーン』で円谷プロダクション作品に参加。本作メイン監督の辻本監督とはこの時からの長い信頼関係を持つ。主に脚本家として多くの映画・テレビドラマを手掛けており、ニュージェネレーションウルトラマンシリーズには 2020 年『ウルトラマン Z』から参加。前作『ウルトラマンブレーザー』まで毎年、辻本監督とタッグを組んでドラマ性の高いエピソードを贈り出している。

<継田淳さんコメント>

本シリーズに初めて参加したのは『ウルトラマン Z』第 18 話、辻本監督のお声がけがきっかけでした。このたびはシリーズ構成・メイン脚本という役目を賜り、大きな喜びと同時に身が引き締まる緊張を感じています。

私も御多分に洩れずウルトラと聞けばテレビにかじりつき、無数の怪獣人形に囲まれて子供時代を送ったひとりです。あれから数十年、月日が流れても変わらぬ想いとは何か、自問自答しながら筆を進めました。

遂に『ウルトラマンアーク』が走り出すいま、その姿を皆さんと共に刮目して見守りたいと思います。

【『ウルトラマンアーク』 作品概要】

放送開始日：2024 年 7 月 6 日（土／日本時間）

放送時間：日本時間 毎週土曜日 午前 9:00～9:30

国内放送局：テレ東系列 6 局ネット 他

国内配信サイト：ネットもテレ東、TSUBURAYA IMAGINATION、YouTube ウルトラマン公式チャンネル 他

海外放送局・配信サイト（予定）：<中国> Tencent Video、Youku、iQIYI、Bilibili / <香港> ViuTV / <台湾> MOMO TV / <タイ> Channel7 / <インドネシア> RTV / <ベトナム> FPT Play

製作：円谷プロダクション・テレビ東京・電通

著作権表記：©円谷プロ ©ウルトラマンアーク製作委員会・テレビ東京

番組公式サイト：https://ani.tv/ultraman_arc/

作品公式サイト：<https://m-78.jp/arc/>

作品公式 X(Twitter)：https://twitter.com/ultraman_series/

出演：戸塚有輝 ほか

メイン監督：辻本貴則 / シリーズ構成・メイン脚本：継田淳

【本件に関する報道関係者様お問い合わせ先】
株式会社 円谷プロダクション パブリックリレーション部
<https://m-78.jp/contact-us/media/>